

**THE ORIGINAL CHINESE TEXTS OF  
THE WORK OF LAOU-TSZE, THE  
GREAT LEARNING, THE DOCTRINE  
OF THE MEAN, WITH THEIR  
JAPANESE TRANSLATIONS & NOTES**

Published @ 2017 Trieste Publishing Pty Ltd

ISBN 9780649094240

The original Chinese texts of the work of Laou-tsze, the Great learning, the Doctrine of the mean, with their Japanese translations & notes by O. Shimizu & M. Hirose & James Legge

Except for use in any review, the reproduction or utilisation of this work in whole or in part in any form by any electronic, mechanical or other means, now known or hereafter invented, including xerography, photocopying and recording, or in any information storage or retrieval system, is forbidden without the permission of the publisher, Trieste Publishing Pty Ltd, PO Box 1576 Collingwood, Victoria 3066 Australia.

All rights reserved.

Edited by Trieste Publishing Pty Ltd.  
Cover @ 2017

This book is sold subject to the condition that it shall not, by way of trade or otherwise, be lent, re-sold, hired out, or otherwise circulated without the publisher's prior consent in any form or binding or cover other than that in which it is published and without a similar condition including this condition being imposed on the subsequent purchaser.

[www.triestepublishing.com](http://www.triestepublishing.com)

**O. SHIMIZU & M. HIROSE & JAMES LEGGE**

**THE ORIGINAL CHINESE TEXTS OF  
THE WORK OF LAOU-TSZE, THE  
GREAT LEARNING, THE DOCTRINE  
OF THE MEAN, WITH THEIR  
JAPANESE TRANSLATIONS & NOTES**



譯 雙 和 英  
集 全 典 古 那 支  
編 三 第

英 雙 譯  
和

中 大 老

庸 學 子

全

東京神田 一三三子堂書店發行

東 日 大 社  
貴 族 院 談 具 實  
神 學 博  
オックスフォード大學教授

德富蘇峰先生推獎  
廣瀨又一  
シエームズ、レツグ先生英譯  
清水起正  
編註

## はしがき

『三十の輻は一つ轂を共にす、其の無きに當つて車の用あり、  
埴を埴して以て器を爲る、其の無きに當つて器の用あり、戸鑿  
を鑿つて以て室を爲る、其の無きに當つて室の用あり。故に有  
るを以て利を爲し、無きを以て用を爲す』(老子第十一章)と無  
の用を説いて二千年前能く虚無主義の濫觴をなした老子、『國を  
治むるは赤子を保んずるが如し、心誠に之れを求むれば中らず  
と雖も遠からず』と云ひ政治と道德の相對性的原理を提唱した  
大學、『知者は之に過ぎ愚者は及ばず、賢者は之に過ぎ不肖者は  
及ばず』と理想に馳せず現實に墮せざる中道の至徳を高調した  
中庸、斯の世界的三大文献に邦語の嚴正無比なる譯文と懇切無  
二なる註解とを施して猶ほ足れりとせず、更に之れにレッグ博  
士の英文譯註を對列せしめ、以て現代人が久しく待望して已ま  
ざる所を充たさんとするもの、これ即ち本書である。

抑も本書の英譯者たるレッグ博士は何人ぞと云へば、博士は  
實に今を去ること七十餘年の昔一宜教師として香港に來たり、  
爾後三十餘年の久しきに亘る在職中殆んど寢食を廢して支那語  
の研究に精進し由來英米人には到底不可解英譯など思ひも寄ら  
ずとされたる東洋民族の聖典論語、大學、中庸、孟子、書經、  
詩經、春秋、老子、莊子等を矢繼ぎ早に譯了し而も之を英譯支

那古典全集と題して任地香港に於いて私費刊行を了せる恐くは空前また絶後の篤學者である。されば博士の支那語の世界最高權威たる名聲は漸く天下に周ねく、英國牛津大學は支那語學の教授として博士を招聘し、佛蘭西學士院は最高賞を贈つて博士の功を永久に宣揚した。想ふに斯かる曠世の大譯文は、苟に東洋哲學に關心を持つ、または東洋人固有の思想を認識せんとする歐米人のみならず、英語若くば漢文の研究に努力を惜しまぬ我々日本國民にも一石二鳥的の最良研究書として必讀を値すべきものとして毫も疑を容る可からざるものであらねばならぬ、然るに何故か我が邦に於いては、孔孟の學を國民道德の基調とし英語漢文を準國語の如く尊重するに拘らず、可惜斯の金字塔的文献のみは日を追ふて益々その眞價を認められつゝありと謂ふを得べき所か、今は却つて或は漸く世上に散佚湮滅せんとするの虞、否その存在をすら全く忘却せられんとするの憾さへ無きにしも非らざる實狀をなしてゐる。さればにや、レッグ博士の英譯漢文叢書とし云へば香港譯者私費刊行版牛津大學復興版いづれも今は三百金を投ずるも尙ほその入手を至難とする文字通り門外不出の稀觀書たらしめて何人も之れを怪まぬ。況んや從來一部好學家の需用を充たしつゝあつた彼の上海商務印書館發行の複寫本華英四書さへ、一昨春勃發の上海事變に際し該書館が我が空軍の爆撃に遇ひ忽ち烏有に歸して、全く絶版の已む

なきに陥りしが如きは世人の全く風馬牛とする所である。此に於いて乎我等は淺學菲才敢てその任に非ざるを顧みるの暇だになく本全集の大眾版化刊行を思ひ立ち、昨春先づ第一卷として論語を發行し、昨秋次いでまた孟子を發行したるに幸にも江湖博雅の驩迎を辱ふし、今更に本書を我等の敬愛惜かざる天下同學諸賢の座右に薦むることを得たるは我等の眞に幸榮とし且つ感謝して已まぬ所である。

昭和八年二月建國紀念の佳日

廣 瀬 又 一  
清 水 起 正



## 內 容 目 次

### 老 子

#### THE WORK OF LAO-TSZE

{ 上 編 . . . . .	頁 頁 2—70
{ PART I . . . . .	3—71
{ 下 編 . . . . .	72—162
{ PART II . . . . .	73—163

### 大 學

#### THE GREAT LEARNING

第 一 章——第 十 章 . . . . .	164—202
CHAPTER I—CHAPTER X . . . . .	165—203

### 中 庸

#### THE DOCTRINE OF THE MEAN

第 一 章——第 三 十 三 章 . . . . .	204—278
CHAPTER I—CHAPTER XXXIII . . . . .	205—279

**THE ORIGINAL CHINESE TEXTS**

**OF**

**THE WORK OF LAOU-TSZE,  
THE GREAT LEARNING,  
THE DOCTRINE OF THE MEAN**

**WITH**

**THEIR JAPANESE  
TRANSLATIONS & NOTES**

*BY*

*O. SHIMIZU & M. HIROSE*

**AND**

**THEIR ENGLISH  
TRANSLATIONS & NOTES**

**BY**

**JAMES LEGGE, D. D.,**

*Professor in the Oxford University,*

Published in 1861,

At the Author's in Hongkong, China.

# 老 子

(道 德 經)

## 上 篇

第一章 一 道可道、非常道。名可名、非常名。——道の道とすべきは常の道に非らず。名の名とすべきは常の名に非らず。

二 無名天地之始<sup>1</sup>。有名<sup>2</sup>萬物之母。——無名は天地の始にして、有名は萬物の母なり。

三 故常無欲<sup>3</sup>以觀其妙<sup>4</sup>。常有欲<sup>5</sup>以觀其微<sup>6</sup>。——故に常に欲無ければ以て其の妙を觀、常に欲有れば以て其の微を觀る。

四 此兩者同出而異名<sup>7</sup>。同<sup>8</sup>謂之玄。玄之又玄。衆妙之門。——此の兩者は出を同ふして名を異にす。同じくする之を玄と謂ふ。玄の又玄なるは衆妙の門なり。

註 此の第一節は老子がその理想とする眞の道即ち宇宙の大本、自然の原理、萬物の根本は絶對普遍永恆不易のものであつて、我々が此の道又は彼の道と稱する又は名づくる相對界の變化消滅する道ではないと、開卷先づ世人の所謂道を味増の味増臭きは眞の味増に非らずと喝破したもの。

1. 無名の道即ち曰く言ひ難き眞の道は天地發生の源泉也。 2. 有名の德即ち無名の道の具體化したもの。手取り早く云へば茲の無名は道、有名は德。 3. 常無欲とは要するに體道者の心境。 4. 道の神祕。